

In-Sight D900 活用テクニック

NAS への FTP 画像保存

作成年月日： 2022年2月25日



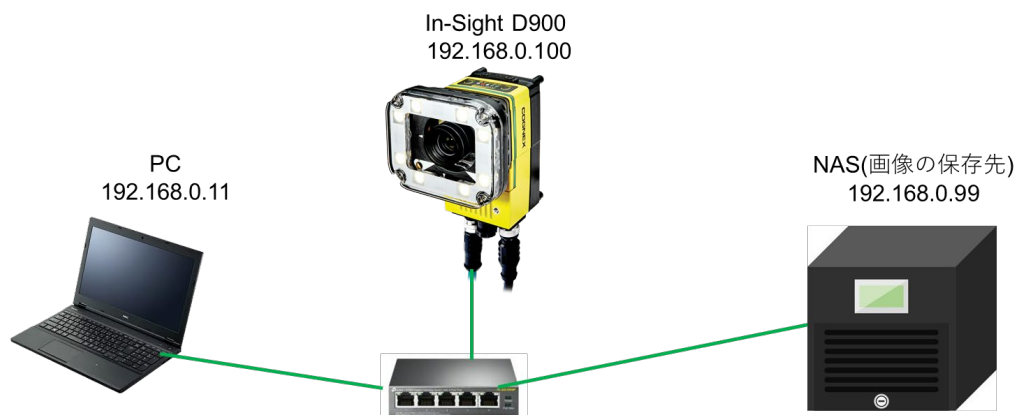
本書は In-Sight D900における NAS との接続および画像保存方法を説明します。

1. NAS の基本設定

はじめに、D900と接続する NAS の基本設定を行います。本書では [I-O DATA HDL XR4.0]を基に説明します。

1.1 PC および D900との接続

NAS と PC および D900を以下のような構成で同一ネットワークに接続します。



1.2 IP アドレスの設定

NAS の IP アドレスを設定します。NAS の設定ページで IP アドレスを以下のように設定します。

LAN

☒ IPアドレスを自動的に取得する(DHCP)
☐ 次のIPアドレスを使う

IPアドレス

192.168.0.99

サブネットマスク

255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ

192.168.0.199

DNSサーバー

192.168.0.199

1.3 FTP 共有の有効化

共有フォルダの FTP 共有を有効にします。NAS の設定ページで以下のように画像保存に使用するフォルダの FTP 共有のチェックをつけます。

共有フォルダ名	アクセス設定	Microsoftネットワーク共有	AppleShareネットワーク共有	FTP共有
Root	全員共有	☒ 使用する	☒ 使用する	☒ 使用する
disk1	全員共有	☐ 使用する	☐ 使用する	☒ 使用する
esata1	管理者共有	☒ 使用する	☐ 使用する	☐ 使用する

1.4 ユーザの追加

共有フォルダへのアクセス権を持つユーザを追加します。[詳細設定]から[共有管理]をクリックし、[ユー

ザー設定]から[新しいユーザーの作成]をクリックします。新しく追加するユーザー名とパスワードを入力します。本書ではユーザー名[vision]、パスワード[cognex1234]で設定します。

新しいユーザーの作成	
ユーザー名	vision
パスワード	cognex1234
パスワード (確認)	
フルネーム	
コメント	
プライマリグループ	未選択
使用量制限値	0 GB

確認する

1.5 詳細アクセス権の設定

画像保存に使用するフォルダのアクセス権を1.4で追加したユーザーに付与します。[詳細設定]から[共有管理]をクリックし、[共有グループ設定]を開きます。[disk1]の[変更]をクリックし、[共有フォルダー設定]を開きます。

共有フォルダー設定		
共有フォルダーリスト		
すべてチェック チェック解除		一括削除
共有フォルダー名	基本設定	操作
☐ LAN DISK Manual	🔒 📁 📄	詳細 変更 削除
☐ Root	🔒 📁 📄 ⌚ 📅	詳細 変更 削除
☐ disk1	🔒	詳細 変更 削除
☐ esata1	🔒	詳細 変更
☐ usb1	🔒	詳細 変更
☐ usb2	🔒	詳細 変更

すべてチェック チェック解除 一括削除

[ユーザー許可設定]より、[vision]を選択し、[読み書きで追加]をクリックし[許可したユーザー]に追加します。

共有管理

サービス設定

ディスク設定

通知設定

システム設定

共有フォルダーの編集

共有フォルダー名	disk1
コメント	HDL-XR RAID share
基本設定	☐ Microsoftネットワーク共有 ☒ ごみ箱 ☒ 隠し共有 ☐ 共有フォルダー使用量制限 GB ☐ リモートアクセスを許可する ☐ AppleShareネットワーク共有 ☐ TimeMachineを許可する ☒ FTP共有 ☐ クラウドストレージ同期 Dropbox同期 識別名 (任意の半角英数字6文字から15文字) ☐ 読み取り専用 ☐ 非登録ユーザーからのアクセスを拒否 ☐ ネットワークバックアップを許可する アクセスパスワードを入力してください。
詳細アクセス権設定	☐ 有効 ☐ 無効

ユーザー許可設定

許可しないユーザー

読み取りで追加

読み書きで追加

削除

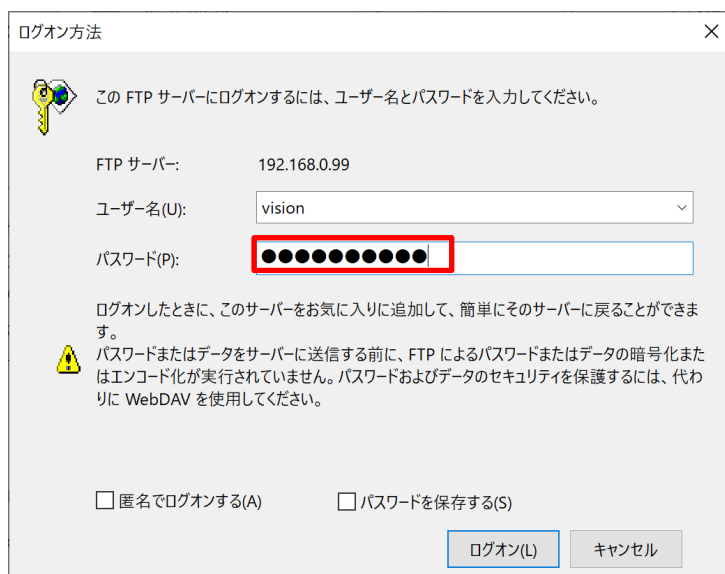
許可したユーザー

[読み書き]vision

1.6 画像保存フォルダの作成

共有フォルダ内に画像を保存するフォルダを新規作成します。今回は1.3で FTP 共有を有効にした [/sataraid1/disk1]内に[test]というフォルダを作成し、そこに画像を保存します。

エクスプローラのアドレスバーに[ftp://vision@192.168.0.99]と入力し、NAS に接続します。
[パスワード]に[cognex1234]を入力し、ログオンをクリックします。

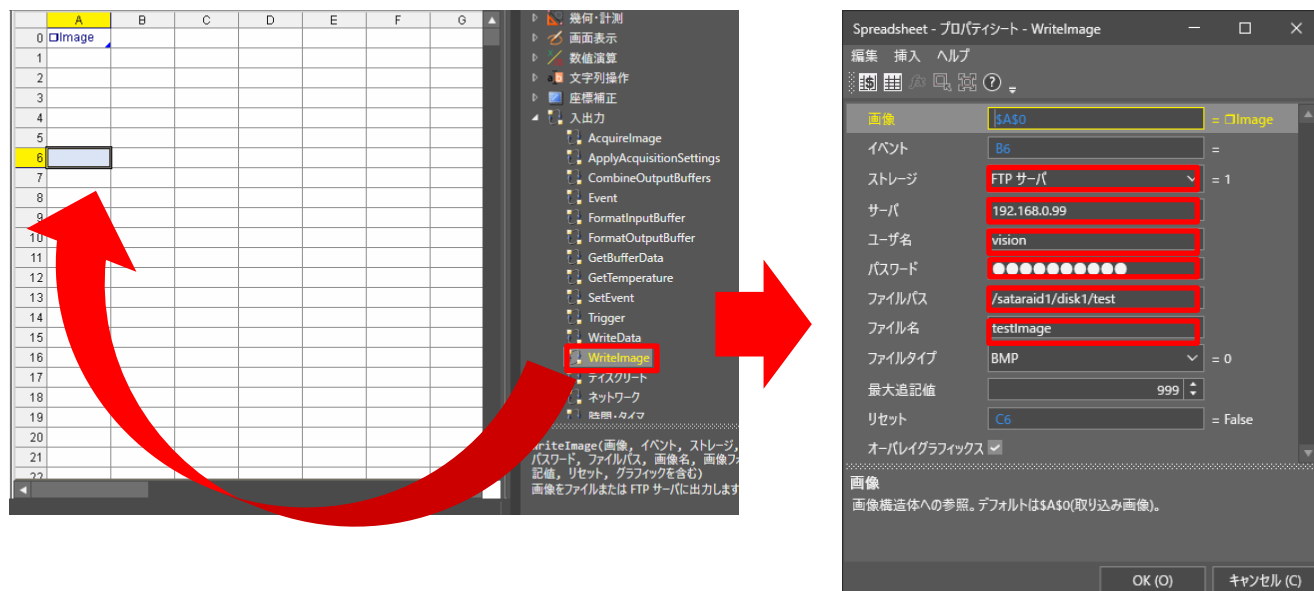


[sataraid1]フォルダをクリックすると、[disk1]フォルダが表示されているので、[disk1]フォルダをクリックします。エクスプローラ内で右クリックし、[新規作成] > [フォルダ]をクリックし新しいフォルダを作成します。名前を[test]に変更します。

2. NAS への FTP 画像保存

1.6で作成したフォルダ内に画像を保存します。

ツールボックス内、[入出力] > [WriteImage] を任意のセルに追加 > [ストレージ]で[FTP サーバ]を選択 > [サーバ]に NAS の IP アドレス : [192.168.0.99]を入力 > [ユーザ名]に[vision]を入力 > [パスワード]に[cognex1234]を入力 > [ファイルパス]に保存先のファイルパス : [/sataraid1/disk1/test]を入力 > [ファイル名]に保存ファイル名 (例 : testImage) を入力することで、画像を NAS へ保存する関数が作られます。



[イベント]に WriteImage 関数作成時に自動的に生成される Write ボタンのセルを指定した場合、Write ボタンを押すたびに画像が NAS へ保存されます。保存されるたびにファイル名の末尾に「testImage0」、

「testImage1」...のようにインデックスがつけられます。

	A	B	C	D	E	F	G
0	Image						
1							
2							
3							
4							
5							
6	WriteImage	Write	Reset				
7							
8							
9							
10							
11							
12							

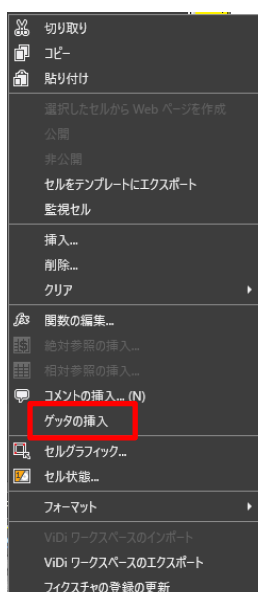
[イベント]に A0を指定した場合、トリガされるたびに画像が NAS へ保存されます。

画像	\$A\$0	=
イベント	\$A\$0	=
ストレージ	FTP サーバ	=
サーバ	192.168.0.99	

2.1 条件付き画像保存

OK 画像、NG 画像など特定の条件を満たすときの画像を保存します。本書では ViDi Detect ツールの検査結果が不合格だったときに NG 画像を保存する手順を紹介します。

- ViDi Detect ツールのセルを右クリックし、[ゲッタの挿入]をクリック

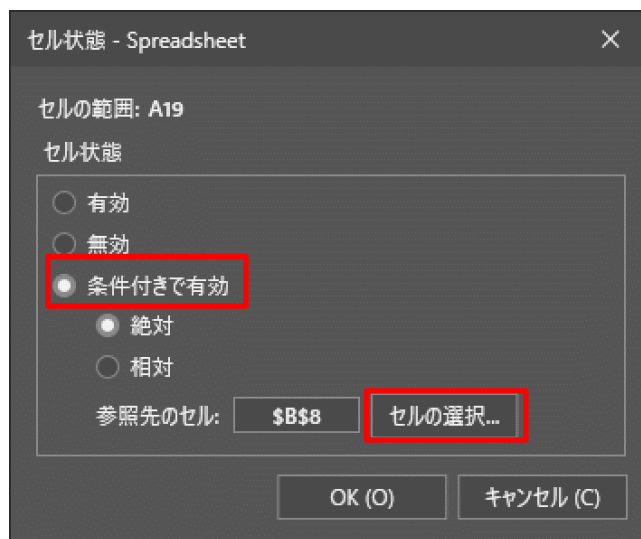


	D	E	F	G	H
0					
1					
2					
3	得点	しきい値 (下)	しきい値 (上)	合格	領域カウント
4	4.064	4.354	4.402	1.000	0.000
5					
6					

2. 任意のセル（例：B8）に [Not(G4)]と入力
3. WritelImage 関数を右クリックし、[セル状態]をクリック



4. [条件付きで有効]を選択し、参照先のセルを2で作成したセルにする。



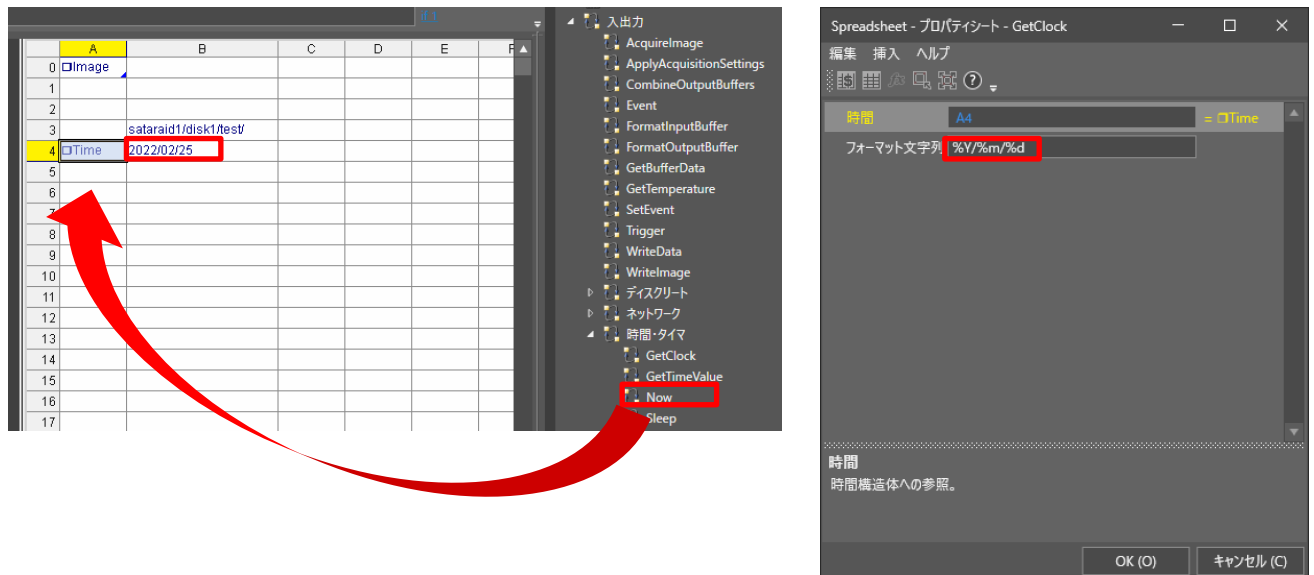
セルの値が"1"だったときのみ WritelImage 関数が実行され、NG 画像のみが保存されます。

2.2 日付ごとの保存フォルダの自動振り分け

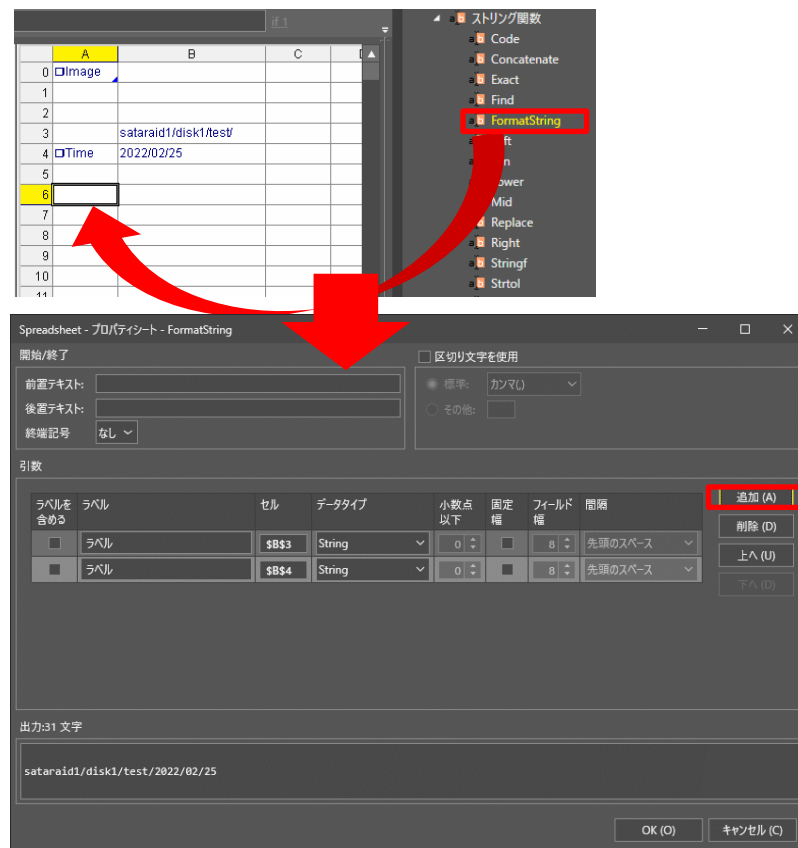
あらかじめ作成しておいた[/sataraid1/disk1/2022/02/25]のような日付ごとのフォルダに、検査日付に応じて自動的に保存フォルダを振り分けし、検査時刻を保存ファイル名にします。（存在しないフォルダを自動で新規作成することはできませんので、あらかじめ日付ごとのフォルダを用意しておく必要があります）

任意のセルに保存先のファイルパスの文字列[/sataraid1/disk1/test/]を入力します。（文字列の前には[/]をつける） ツールボックス内、[入出力]>[時間・タイマ]>[Now]を任意のセルに追加>Now 関数のプロパテ

ィシートの[イベント]が[A0]になっていることを確認し[OK]をクリック>追加した Now 関数の隣のセルに GetClock 関数のセルが自動作成されるのでダブルクリックしてプロパティシートを開く>[フォーマット文字列]を[%Y/%m/%d]に変更し[OK]をクリック。

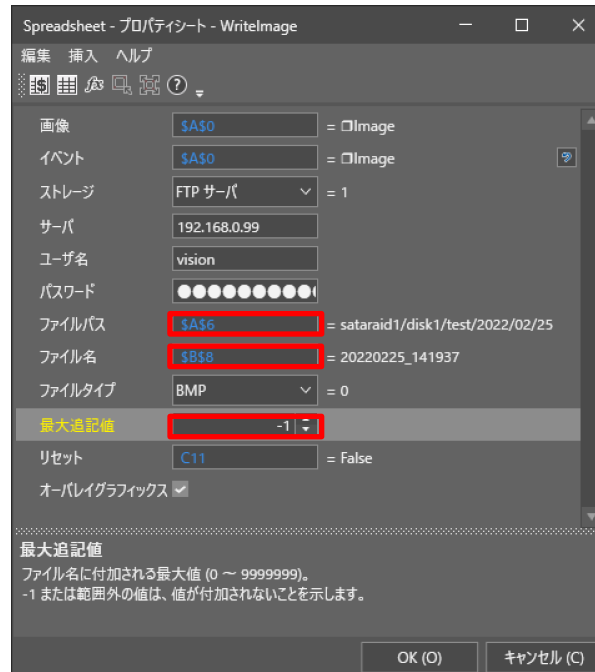


ツールボックス内、[文字列操作]>[ストリング関数]>[FormatString]を任意のセルに追加>[追加]をクリックし、保存パスのセルを追加>同様に日付のセルを追加>[OK]をクリック。



同様の手順で Now 関数を追加し、[フォーマット文字列]を[%Y%m%d_%H%M%S]に変更します。(年月日_時分秒)

WritelImage 関数の[ファイルパス]にファイルパスの FormatString 関数のセルを追加>[ファイル名]に年月日_時分秒でフォーマットした GetClock 関数のセルを追加>[最大追記値]に[-1]を設定し、ファイル名の末尾に追加されるインデックスを無効化します。



保存した日付のフォルダに保存時刻に応じたファイル名で画像が保存されます。

